

令和2年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

港湾振興課

1 施設の概要等

施設名	広島観音マリーナ		
所在地	広島市西区観音新町四丁目		
設置目的	海洋性スポーツの振興及びレクリエーション活動の普及		
施設・設備	マリーナ施設(艇置施設, 上下架施設, 駐車場等)		
指定管理者	4期目	H28. 4. 1~R8. 3. 31	(株)ひろしま港湾管理センター
	3期目	H26. 4. 1~H28. 3. 31	(株)ひろしま港湾管理センター
	2期目	H21. 4. 1~H26. 3. 31	(株)ひろしま港湾管理センター
	1期目	H18. 4. 1~H21. 3. 31	(株)ひろしま港湾管理センター

2 施設利用状況

利用状況	年度	収容可能隻数	目標値 [事業計画]	艇置数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4期	R2	577 艇	285 艇	275 艇	△1 艇
R1		577 艇	285 艇	276 艇	1 艇	△9 艇(96.8%)
H30		577 艇	287 艇	275 艇	0 艇	△12 艇(95.8%)
H29		577 艇	288 艇	275 艇	5 艇	△13 艇(95.5%)
H28		577 艇	283 艇	270 艇	△9 艇	△13 艇(95.4%)
	3期平均H26~H27	577 艇	278 艇	279 艇	△8 艇	1 艇(100.4%)
	2期平均H21~H25	577 艇	296 艇	287 艇	△41 艇	△9 艇(97.0%)
	1期平均H18~H20	577 艇	—	328 艇	9 艇	—
	H17 (導入前)	577 艇	—	319 艇	—	—
増減理由	入艇促進のための事業を行った結果、プレジャーボート・ヨットについては、前年に対して6艇増となったものの、コロナ禍によりイベント等が縮小したため、全体で1艇減となった。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	<b>【実施方法】</b> コロナ禍により、直接意見聴取できなかったため、オーナー全員にアンケート調査を実施した。	<b>【対象・人数】</b> オーナー全員を対象・述べ人数：約130人
	<b>【主な意見】</b> 老朽化した海上栈橋の更新が進まないこと、給電設備の電気容量不足など、施設の更新・改修に早期対応して欲しい。	<b>【その対応状況】</b> 課題となっている大型艇の栈橋の更新について当社施工の方向を含め広島県と調整を続けている。 広島県によるサービス栈橋の改修や電気容量の確保・修繕工事が実施された。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書, 損益決算書, 修繕実績報告書, 行事実績報告書
	月報	○ 入艇状況報告等
	日報 (必要随時)	○ 苦情, トラブル等について随時報告
管理運営定例会議 (毎月)		<b>【特記事項等】</b> ・施設の老朽化に伴い長期的な維持修繕計画の策定が求められる。 <b>【指定管理者の意見】</b> ・需要創生による新規入艇に取り組んでいるが、大型艇(40ft~70ft)の入艇要望に対し、大型艇対応バースが不足している。 ・大型艇の栈橋の更新と受電施設等の早期更新計画の調整を望む。
現地調査 (随時)		<b>【県の対応】</b> ・施設の老朽化対策について、指定管理者と連携し今後の修繕の範囲について調整を行う。

## 5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
県委託料 (決算額)	4期	R2	0	0	料金 収入 (決算額)	4期	R2	116,230	△2,579
		R1	0	0			R1	118,809	△1,726
		H30	0	0			H30	120,535	△1,116
		H29	0	0			H29	121,651	5,925
		H28	0	0			H28	115,726	4,195
	3期平均H26～H27		0	0		3期平均H26～H27		111,531	12,028
	2期平均H21～H25		0	0		2期平均H21～H25		99,503	△23,752
	1期平均H18～H20		0	0		1期平均H18～H20		123,255	11,473
	H17(導入前)		0	—		H17(導入前)		111,782	—

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R2 決算額	R1 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	0	0	0	
		料金収入(※1)	116,230	118,809	△2,579	駐車場、ビジターの利用減(新型コロナウイルス感染症拡大防止策の影響)
		その他収入	77,736	76,643	1,093	賃貸料収入の増
		計(A)	193,966	195,452	△1,486	
	支出	人件費	41,428	47,121	△5,693	施設負担割合による減
		光熱水費	9,392	9,013	379	
		設備等保守点検費	2,140	2,537	△397	
		清掃・警備費等	23,852	24,042	△190	
		施設維持修繕費	19,655	6,869	12,786	老朽化対策の応急修繕費増
		事務局費	61,670	50,581	11,089	新規投資の減価償却費増
その他		31,050	36,705	△5,655	燃料仕入の減	
計(B)	189,187	176,868	12,319			
収支①(A-B)		4,779	18,584	△13,805		
自主事業 (※2)	収入(C)	0	0	0		
	支出(D)	0	0	0		
	収支②(C-D)	0	0	0		
合計収支(①+②)		4,779	18,584	△13,805	(うち県への納付額 19,000千円) (R2) ※3	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。  
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

※3 資本費相当額：県が負担した施設の整備費を収益から負担金として納付されている。

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の設置目的に沿った業務実績</li> <li>○業務の実施による, 県民サービスの向上</li> <li>○業務の実施による, 施設の利用促進</li> <li>○施設の維持管理</li> </ul>	<p>計画していた県外ボートショーへの出展や, 広島ボートショーの開催・マリーナ主催イベントは, コロナウイルス感染拡大防止のため中止・見送りとなった。</p> <p>事務所棟を整備し, 免許事業者による免許教室等開催の充実を図った。</p> <p>ボート展示場及びマリカウunter業務を行って, 新規需要の囲い込みとユーザー化に努めた。</p> <p>観光プロダクツ開発支援事業の採択を受け, チャータークルージング事業の拡充やビジター予約システムの整備を行い, 新たな利用者の獲得や海に親しむ機会の創設に努めた。</p>	<p>コロナ禍によりイベント等は中止になったが, 事務所棟を整備し, 免許教室開催等の充実を図り, 新規需要の掘り起こしに努めている。</p> <p>支援事業を活用し, マリンスポーツの普及とマリレジャーの裾野の拡大を図っている。</p>
管理の人的物的基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○組織体制の見直し</li> <li>○効率的な業務運営</li> <li>○収支の適正</li> </ul>	<p>引き続き広島観音マリーナと広島地域マリーナを総括的に担当する入艇促進・企画担当部長を配し, 新規契約の増加や解約防止の推進に取り組んだ。</p> <p>ヤードを含めたスタッフの充実を図るため正社員を2名採用するとともに, 全体の接遇研修を実施した。</p>	<p>入艇促進に係る体制の強化が図られ, 収容艇の増加に向けて取り組んでいる。</p> <p>スタッフの充実により, 効率的な業務体制が維持されている。</p>
総括		<p>マリーナの新規入艇は, 社会経済情勢による総需要の影響を受けやすいため, 利用しやすい施設の運営や利用者のニーズの把握に継続的に取り組み, オーナーの満足度の向上を図る対応に努めている。</p> <p>レンタルボートやチャータークルージングメニューの充実に努めるとともに, 釣り需要の拡大を図るため, 遊漁船事業も引き続き取り組んでいる。</p> <p>管理経費の抑制に努め, 効率的な施設運営に取り組んでいる。</p>	<p>施設の利用促進にとどまらず, 利用者の満足度の向上を図りつつ, 県民に対する海洋性レクリエーション活動の普及にも継続して注力しており, 施設の効用発揮が促進されている。</p> <p>施設管理の質を低下させることなく, 適正な施設の管理運営がなされている。</p>

## 8 今後の方向性 (課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プレジャーボート等の大型化対応に向けたシングルバース化等の調整</li> <li>○大型艇の棧橋改修計画の明確化</li> <li>○ボート免許事業者との協働による受講者へのマリレジャーへの取り込み動機付けの推進</li> <li>○海洋性スポーツの振興・普及活動の展開</li> <li>○チャーター事業, レンタル事業及びマリーナアライアンス事業の活用による, クルージング需要の訴求</li> <li>○遊漁船事業によるボートフィッシング需要の訴求</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プレジャーボート等の大型化及び大型艇の棧橋の改修計画の明確化を行う。</li> <li>○指定管理者が実施する施設の利用促進について, 取組への協力を行う。</li> </ul>
中期的な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適切な維持管理及び施設更新の調整</li> <li>○経営基盤強化のため, 資産の最大活用</li> <li>○マリーナの魅力発信による利用拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リニューアルしたホームページを活用してモノ(施設・設備)訴求からコト(楽しさ・安全)訴求による幅広い層への訴求力向上と誘因力を強化する。</li> <li>・地域団体・企業コラボを検討する。</li> </ul> </li> <li>○広島エリアのマリレジャー中核拠点として広島の魅力向上と観光需要の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指定管理者と連携を図りながら, 施設の更新・修繕計画の策定に向けた検討を行う。</li> <li>○県民に対する海洋性レクリエーション活動の普及・発展に向けた取組を行う。</li> </ul>